

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 戸出英樹 副委員長 岡崎義勝
幹事 塚本和也・前田英樹 幹事補佐 鎌村星平

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 矢守恭子 副委員長 林 孝典・下西英之
幹事 松田崇弘・久保亮吾 幹事補佐 アベセカラ ヒラント・福元徳広

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 登内敏夫 副委員長 中川 学・野村祐士
幹事 高橋英士・村田政雄 幹事補佐 服部雅晴

★ネットワーク仮想化研究会 (NV) (第二種研究会)

◎本研究会はNS研究会とCQ研究会, ICM研究会, NV研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。また, CQ研究会とICM研究会は平成28年度において参加費が必要になりますので, 下記を御参照下さい。
http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/trial2015/trial2015_index.html

日時 11月24日(木) 9:45~17:50
25日(金) 9:30~16:40

会場 下関商工会館3F 第一研修室, 第二研修室(下関市南部町21-19 下関商工会館。 http://www.shimonoseki.cci.or.jp/?page_id=431)

議題 ネットワーク品質, ネットワーク計測・管理, ネットワーク仮想化, ネットワークサービス, 及び一般
24日午前 NS1(第一研修室)(9:45~11:50)

NS-1. プロアクティブ制御とリアクティブ制御を組み合わせたクラウドサービス向けオートスケーリングの評価

○小川祐紀雄(室蘭工大)・長谷川 剛・村田正幸(阪大)

NS-2. CDNとBreadcrumbs方式の連携制御に基づくコンテンツ取得法とキャッシング特性の分析

○稲場裕太郎・谷川陽祐・戸出英樹(阪府大)

NS-3. P2PTVトラヒックの特性分析と予測手法

○武内直喜・三好 匠(芝浦工大)・オリヴィエ フルモー(UPMC)

NS-4. 共通データ圧縮型仮想マシン移行方式のための移行順決定アルゴリズム

○杉園幸司・福岡亜希・渡辺裕太・重谷昌昭(NTT)

NS-5. 複数SDNアプリケーションにおけるフローエントリ競合検知手法の提案

○西間木 哲・引地謙治・宗宮利夫・山田亜紀子(富士通研)

CQ1(第二研修室)(9:45~11:50)

CQ-6. スケッチ法による異常トラヒック検知の性能評価に関する一検討

○吉岡将道・平栗健史・吉野秀明(日本工大)

CQ-7. Effect of AQM based RLC Buffer Management on the eNB Scheduling Algorithm in LTE Network

○Anup Kumar Paul・Hidehiko Kawakami・Atsuo Tachibana・Teruyuki Hasegawa(KDDI R & D LAB)

CQ-8. ヘルスケア・生活支援システムの開発—トライアル実験の報告— ○平栗健史・原 正東・大塚智晴・松村

勝裕・犬木拓也・設樂 勇・秋元俊成(日本工大)・佐藤光荣(東都医療大)

CQ-9. 口コミを踏まえた合意形成における意見の不一致条件を緩和したモデルの考察

○作元雄輔・会田雅樹(首都大東京)

CQ-10. ソーシャルメディアネットワークの炎上に関する動力的モデル

○会田雅樹(首都大東京)・高野知佐(広島市大)・村田正幸(阪大)

24日午後 招待講演1(第二研修室)(13:00~13:45)

共通-11. [招待講演] QuEST Forumの取り組み及び仮想化ネットワークにおける品質のあり方
新橋雅宏(富士通)

招待講演2(第二研修室)(13:45~14:30)

共通-12. [招待講演] ボトルネック状態におけるトラヒック特性変化について 石橋圭介(NTT)

招待講演3 (第二研修室) (14:40~15:25)

13. NV 研究会 招待講演

招待講演4 (第二研修室) (15:25~16:10)

共通-14. [招待講演] 企業価値の協調に基づくネットワークサービス 西園敏弘 (日大)

招待講演5 (第二研修室) (16:20~17:05)

共通-15. [招待講演] オープンソース仮想スイッチの実装に見る DPDK の使用方法と性能への影響
川島龍太 (名工大)

招待講演6 (第二研修室) (17:05~17:50)

共通-16. [招待講演] 最新 SD-WAN ソリューションの実情と技術検証
太田 篤 (BOSCO)・〇中島弘一 (日商エレクトロニクス)・林 経正 (BOSCO)

25 日午前 NS2 (第一研修室) (9:30~10:45)

NS-1. 光パケット・光パス統合網における光パス資源の利用状況を考慮した光パケットオフローディング手法

〇大砂古雅喜・谷川陽祐 (阪府大)・廣田悠介 (阪大)・戸出英樹 (阪府大)

NS-2. 大規模通信ソフト開発環境への OSS ツール適用の評価 〇菊間一宏・篠田貴彦 (NTT)

NS-3. [奨励講演] 無線ネットワーク上でのバッファリング戦略に基づく省電力ビデオ配信の性能評価

石津裕也・〇金井謙治・甲藤二郎・中里秀則 (早大)・広瀬真里枝 (パナソニックアドバンステクノロジー)

CQ2 (第一研修室) (10:55~12:35)

CQ-4. Vehicular DTN as an Approach for Post-disaster Communication

〇Celimuge Wu・Tsutomu Yoshinaga (UEC)・Yusheng Ji (NII)

CQ-5. Network Coding in Store-carry-forward routing for file transfer across multiple islands

Rabenirina Aina Tsiory (KIT)

CQ-6. 無線メッシュネットワークにおける移動型中継端末を利用した輻輳回避経路構築法の研究

〇林 龍一 (東京都市大)・朝比奈 啓 (慶大)・山本尚生 (東京都市大)

CQ-7. 無線メッシュネットワークにおける災害時長期運用のための省電力化の研究

〇伊藤聡志 (東京都市大)・朝比奈 啓 (慶大)・山本尚生・宇谷明秀 (東京都市大)

25 日午後 CQ3 (第一研修室) (13:35~14:50)

CQ-8. 通信距離の異なる無線端末が混在する環境における IEEE 802.11aa GCR による音声・ビデオグループキャスト

QoE 評価 〇小松拓矢・布目敏郎 (名工大)

CQ-9. 静止画像を対象とした NR 型ノイズ予測器の検討 〇稲積泰宏・井藤七穂・堀田裕弘 (富山大)

CQ-10. Web 品質劣化切り分け手法におけるレファレンス分布における一考察

〇吉村憲子・野尻秀樹・岡本 淳・林 孝典 (NTT)

NS3 (第一研修室) (15:00~16:40)

NS-11. [奨励講演] エッジコンピューティングにおけるネットワーク消費電力特性評価

青木大樹・〇金井謙治・甲藤二郎・中里秀則・津田俊隆 (早大)

NS-12. ネットワーク仮想化における強化学習に基づく動的リソースマイグレーション機構の提案

〇宮澤高也・ベド カフレ・原井洋明 (NICT)

NS-13. 高速な仮想マシン間接続を実現する Soft Patch Panel の提案及び評価

〇小川泰文・中村哲朗・高田直樹・中村宏之 (NTT)

NS-14. ビッグデータと周辺計算機資源を密結合する光仮想ネットワーク構成と資源配分法

〇中野啓太・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

25 日午前 ICM1 (第二研修室) (9:30~10:45)

ICM-15. [奨励講演] LTE 端末の受信電力に基づく無線回線負荷推定の精度検証

〇高橋英士・小林航生・鈴木敬之・大西健夫・里田浩三 (NEC)

ICM-16. LTE 端末の受信電力から推定した無線回線負荷と通信体感品質の検証

〇大西健夫・高橋英士・鈴木敬之・太田大輔・小林航生 (NEC)

ICM-17. 公衆無線 LAN における帯域保証のためのバックホール仮想化

〇銀杏一輝 (阪大)・木下和彦 (徳島大)・中山裕貴・林 経正 (ボスコ・テクノロジーズ)・渡辺 尚 (阪大)

ICM2 (第二研修室) (10:55~12:35)

ICM-18. 多様な NW 管理に向けた可変性の高い NW 管理アーキテクチャ

〇佐藤正崇・明石和陽・堀内信吾・小谷忠司 (NTT)

ICM-19. サービス生成時におけるリソースへのマッピング手法の提案

○明石和陽・佐藤正崇・堀内信吾・小谷忠司 (NTT)

ICM-20. SDNにおけるリンク遅延を考慮したフロー集約法

○小杉山拓弥 (東工大)・中山裕貴・林 經正 (BOSCO)・山岡克式 (東工大)

ICM-21. vEPCのC/D-plane 仮想化における最適リソース割当に関する検討

○田辺和輝 (東工大)・中山裕貴・林 經正 (BOSCO)・山岡克式 (東工大)

25日午後 ICM3 (第二研修室) (13:35~15:15)

ICM-22. E2E管理を実現するオペレーションシステムにおける機能要件

○高橋謙輔・中島 求・副島裕司 (NTT)

ICM-23. モデルベースアプローチによるネットワーク機器更新の自動計画

○中野谷 学・黒田貴之・登内敏夫 (NEC)

ICM-24. 操作事例にもとづく業務システムへの誤投入検知・修正箇所特定手法

○丸山佑哉・小笠原志朗 (NTT)

ICM-25. アプリケーション監視ログを用いたMongoDB v2.6とv3.0の性能評価

○小崎信明・佐藤竜也 (日立)

NV1 (第二研修室) (15:25~16:25)

26. NV研究会 一般講演

☆NS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月21日(水), 22日(木) 金沢勤労者プラザ〔未定〕テーマ:マルチホップ/リレー/協調, 耐災害無線ネットワーク, センサ・メッシュネットワーク, アドホックネットワーク, D2D・M2M, 無線ネットワークコーディング, ハンドオーバー/AP切替/接続セル制御/基地局間負荷分散/モバイルNW動的再構成, QoS・QoE保証/無線VoIP, 一般

2017年1月26日(木), 27日(金) KKRかごしま敬天閣〔未定〕テーマ: NWソフトウェア(ソフトウェアアーキテクチャ, ミドルウェア), NWアプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーティング, グリッド, NW及びシステム信頼性, NW及びシステム評価, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

鎌村星平 (NTT) TEL [0422] 59-3349

前田英樹 (NTT) TEL [0422] 59-4016

◎最新情報は, NS研ホームページを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆CQ研究会

【問合せ先】

松田崇弘 (阪大)

TEL [06] 6879-7741, FAX [06] 6875-5901

E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

久保亮吾 (慶大)

TEL [045] 566-1763, FAX [045] 566-1529

E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は, CQ研究会ホームページを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

☆ICM研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2017年1月19日(木), 20日(金) 長崎商工会議所〔11月8日(火)〕テーマ: ライフログ活用技術, オフィス情報システム, ビジネス管理, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

ICM研究会幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>